

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：ふかや緑の王国ボランティア

22A-45

代表者：代表 富沢隆史

URL :

1. 活動が必要とされた状況

ヘイケボタルは深谷市内では、現在自然のまま生息している場所は無い。ふかや緑の王国内水路で、環境保全の象徴であるヘイケボタルを自然繁殖、自生化を目指すと共に市民の憩い場所、子供達への環境教育の場所を提供したいとの願いで活動が始まった。

幼虫の飼育水槽、成虫の産卵・孵化小屋、幼虫放流する水路の整備等を行っている。毎年およそ8月～翌3月幼虫を飼育水槽で、孵化後4～5令幼虫になるまで育てている。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ① ホタル観賞会の開催 2019-6-14～15
市民約300人参加、ボランティア12人参加。
王国水路での観賞、幼虫生態展示、パネル展示。



- ② 水路・飼育水槽他の設備更新作業活動
2019-11～2020-2 ボランティア延べ20人。
水路の橋、流入樋の新設、飼育水槽設備の水槽・架台・給水排水装置の新設・更新。

- ③ 水路周辺の整備活動
2020-1-24～31 ボランティア延べ15人。
水路周辺の落ち葉掻き。水路の滞留残滓清掃。



3. 活動の成果

- ① ホタル観賞会の開催。2年ぶりに、開催することが出来た。ある数量の幼虫が育つことが出来たため。

- ② 飼育設備の更新。設備劣化が進み、補修更新を必要していましたが、今回活動助成金をいただき、設備更新が出来た。



4. 今後に残された課題

ホタルは自然の中での生物で、自然環境である気候の影響、荒川の水質、水温の影響。水路の環境などが成育に影響している。このままの状態水路に棲み着き自生化できるかは、今後確認実験作業が必要です。このためには、確認実験が出来る十分な幼虫数量が継続して、飼育出来るかが今後の課題です。